

# はつらつ座安っ子



【学校だより: 令和4年4月 第1号】  
豊見城市立座安小学校 校長: 具志直哉

## なかよく かしこく たくましく

～主体的に他者と協働し、豊かな学び方を身に付け、夢や目標を持って粘り強く生きる子～

座安小学校の全職員は、子どもたち1人ひとりを認め、受け入れ、持っている「可能性を拓き伸ばす教育」の実践をめざし、全力でがんばります！

「はつらつ座安っ子」をお読みいただき、ありがとうございます。学校長の具志直哉（ぐしなおや）と申します。よろしくお願ひします。

私の教育理念、そして今年度の教育の方向性を紹介し、保護者の方々と共に連携していくために、今年度もこのお話から始めさせていただきます。



## 聴く力の重要性、学力とは未知の状況への発想力！

11日の入学式で、保護者の皆さんに以下のお話をしました。

あるこども園の園長先生から聞いたお話を紹介します。

あるクラスで劇をやることになり、多くの子ども達が主役をやりたいがるものですから配役が中々決まりません。困った先生が「どうやって決めたらいいと思う？」って子ども達に聞いたのです。子ども達からは「ジャンケンで決める！」とか「くじ引きがいい！」という案が出ました。そんな中、ある男の子が「僕はにらめっこがいいと思う」と言ったのです。

これを聞いて、保護者の皆様はどう思いますか？「はいはい」って聞き流したり、「みんなで一生涯懸命考えているのに何をふざけているの！」なんて怒ったりしてはいけません。なぜなら、子どもは純真であり、子どもがすることや言うことには、必ずそれなりの意味があるからです。

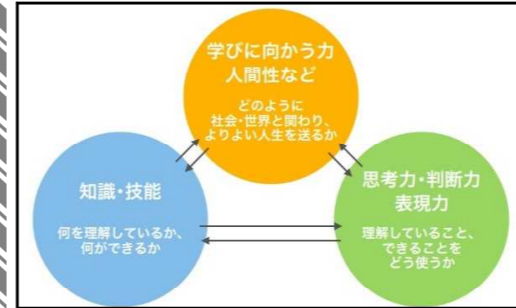
さて、そのこども園の先生もやっぱり教育者でした。「おもしろいことを言うなあ」と思い、「なぜにらめっこがいいと思うの？」ってその子に聞いたのです。その子は大きな目をまっすぐに先生へと向けて、「だってさあ、にらめっこだったら、負けた子が笑っているでしょ」って言ったのです。



このお話から、「子どもの話をしっかり聴くこと」の大切さに気づかされます。話と言うより、子どもの思いなのかな？大人の聴き方によって、子どもの優しさや良いアイデアが気づかれなかったり、叱られたりして自信を失わせてしまうこともあれば、自分の考えや気持ちが認められ、しかも生かされていくことで自己有用感や自己肯定感が育まれこともあります。

もう一つは、この子の「にらめっこがいいと思う」という発想は『学力』なのだ！ということです。少し専門的になりますが、これからの時代を生き抜く『学力の3要素』というものがあります。学校教育はそれを指標にして行われます。(次頁左図参照)

その3要素に当てはめて考えてみると、この子は、何とか解決したいという「優しさや粘り強さ」(人間性等)が動機付けとなり、にらめっこのルールや勝敗の決め方などの「知識や技能」を活用して「思考し、判断し」、そしてうまく先生に「表現し」て伝えたわけです。しかもそれはそ



の場にいる友だちや仲間の気持ちなども考え、この先もより良くやっていけるような解決策だと思います。

「学力」ってこれまでは「学んだ力」だったように思います。言い換えると『いろいろなことを知っている力』です。過去に蓄積した力です。けれどこれから必要な「学力」は「学んでいく力」で未来志向です。知っていること、経験したこと、聞いたこと、調べたことをもとに、

問題や課題と向き合い、解決していくことでさらに自ら学びを深めていく力です。

本校では、子ども達にこの「学んでいく力」をつけていきます。「主体的に他者と協働し、豊かな学び方を身に付け、夢や目標を持って生きる子」を教育目標に掲げ、取り組んでいきます。

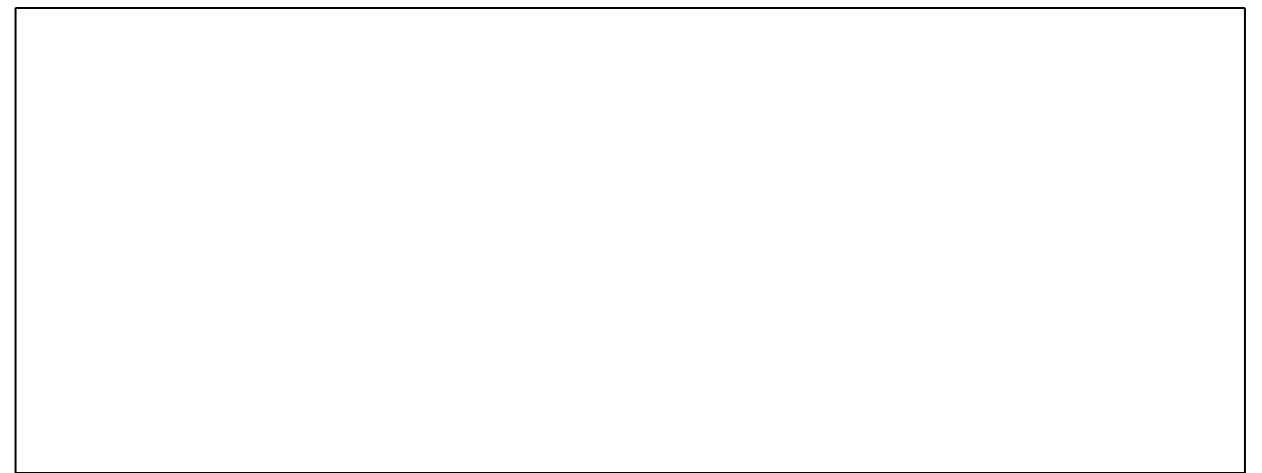
取組は授業を中心に進めていきます。子どもも教師もお互いの話をしっかり聴き合い、そして認め合い交流し、子ども達が主体的に協働的に課題を解決していく授業を行っていきます。

さあ準備は整いました。本土から著名な講師も来校し、アドバイザーとして授業づくりをサポートしてくれます。生徒指導や教育相談、特別支援教育等々に長けた有識者たちも本校教育に協力し支援してくれます。PTAや地域の方々にも頼りながら共に座安っ子の育成に邁進していきたいと思ひます。頑張ります。

## 先生たちも「なかよく かしこく たくましく」

今年度、15名の新しい先生方が赴任し、全47人の教職員で、子ども達のより良い成長を支援して参ります。以下に、今年度の職員を紹介します。

【令和4年度教職員】\*太字が今年度、赴任した先生方です。



## 令和4年度が無事、スタートできました！

先週【8日(金)】は始業式で新2～6年生、419名の元気な子ども達と2週間ぶりに出会い、入学式でピカピカのかわいい1年生、81名を迎えることができました。新年度を休校をすることなく、全500名



の子ども達と47名のスタッフが無事船出できたことに安堵と喜びを感じます。また、子ども達はよく働く子が多いです。その代表は6年生！入学式の準備や後片付けも素早く効率的に頑張ってくれました。

